

競技上の諸注意

1 競技規則

本大会は令和4年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則及びJクイックハンドボール競技規則に準じる。

2 競技方法と時間

(1) 試合方法は、3チームによる予選リーグの後、各リーグの1位2位3位はそれぞれ、1位リーグ、2位リーグ、3位リーグを行う。

※順位決定方法は以下の通りとする

①勝ち点（勝ち2、引き分け1、負け0）

②得失点（25%ルールは適用しない）

③当該チームの勝敗

④総得点

⑤抽選（抽選方法については、大会において別途定める）

(2) 男女とも15分－10分（休憩）－15分とする。（延長戦なし）

(3) 加算式の電光掲示時計を使用する。

(4) タイムアウトは1試合につき前後半1回ずつ請求できる。

(5) 試合開始1分前に、タイムアウトは10秒前にブザーまたは笛をならす。

(6) 退場者については、電光掲示板またはボードにて背番号と時間を表示する。記録席からの指示はしない。

(7) 競技は原則開始時刻通りとする。

3 大会使用球

（公財）日本ハンドボール協会の検定球モルテン d 6 0 の1号球（男子）と0号球（女子）を使用する。

4 競技会場

(1) 競技会場は、武蔵村山市総合体育館・国士館大学多摩キャンパス体育館・東京女子体育大学体育館は40m×20m、あきる野市秋川体育館は38m×20mのコートで行う。

(2) 館内は必ず体育館シューズを使用し、外履きとの区別をはっきりすること。

(3) 松やに・松やにスプレー・両面テープなどは使用不可とする

(4) ウォーミングアップは、各会場の指定された場所で行うこと。

5 トス・ユニフォームの確認等

(1) 第1試合のトスは試合開始の30分前に、第2試合以降は前試合のハーフタイムに行う。

(2) ユニフォームは濃・淡2色を用意する。（ビブスも可とする）

(3) ユニフォームの確認はトスの時に行う。その際に、大会に申込みをした全てのユニフォームを持参すること。

(4) 役員・選手はトス時に日本協会登録証を提出し、試合直前に審判員から本人の確認を受ける。なお、登録証には写真を必ず貼付すること。

(5) ベンチに入れるのはチーム役員4名、選手20名以内である。

(6) 代表者会議で決定したチーム役員・選手・臨時トレーナーのみが競技に参加できる。

6 参加資格等

- (1) ベンチは役員4名、選手20名までとする。役員登録されていない臨時トレーナーについては、指定場所で待機すること。
- (2) ベンチに入る役員には、オフィシャルよりIDカード（A, B, C, D）を配布する。臨時のトレーナーは受付にてIDを配布する。
- (3) チーム責任者は公式記録用紙に試合開始前、役員名及び選手名と背番号が正しく記載されているか確認し、サインをする。

7 裁定委員会及びMO・TD

- (1) 本大会に裁定委員会を置き、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長その他大会役員関係者をもって委員会を構成する。必要があれば関係者（当該チームの選手を含む）を同席させるケースもある。
- (2) 裁定委員会は、本大会において発生した全ての問題について審議し、その対応を決定する機関である。
- (3) 本大会全ての試合にTD2名を置く。

8 諸注意

- (1) 競技中、交代地域でのボール使用は一切禁止する。ボールはケース等に収納すること。
- (2) コールドスプレー等は、けが等で使用する以外はバッグ等に収納しておくこと。
- (3) 体育館の電源の使用は禁止する。
- (4) 体育館の使用に際しては、各都県代表選手としての自覚と誇りを持って行動すること。
- (5) 試合終了後、選手はコート上横一列に並びあいさつをし、キャプテンのみ相手ベンチに挨拶とする。

9 その他

- (1) 閉会式・代表者会議をおこなう。閉会式は武蔵村山市総合体育館にて試合終了30分後からおこなう。入賞したチームに順位表彰及び個人表彰（代表者1名）を行う。代表者会議は、14日午前8時50分より郷土の森総合体育館（府中総合体育館）にて行う。
- (2) 代表者会議の受付にて参加費・プログラム代・お弁当代の支払い・記念Tシャツの引き渡しを行うので、お釣りがないように準備すること
- (3) 公式記録用紙は関東ハンドボール協会宛とし原本を保管、当該チームへはコピーしたものを配布する。
- (4) 試合間及び終了後には、ベンチなどをアルコール消毒するため、コートへの入場は役員の指示により、入場すること。
- (5) チーム役員・選手は別途定める入退館時間を厳守する。入館時、「健康チェックシート」「参加者名簿」をセットにして受付に提出する。運営協力員及び臨時トレーナーに関しては、試合毎に提出すること。
- (6) 運営協力員は試合終了後、速やかに退館する。大学キャンパスにおいては、敷地内に留まることは出来ない。移動中は静かにすること。
- (7) 体育館内では音の出る楽器や道具・大きな声を上げないなど、感染症対策に協力すること。